

荒川将来像計画 地区別計画 (改定版 戸田市)

～健康・Well-beingな川づくりを目指して～

「荒川」と荒川に関わる「まち」と「ひと」が共に健康・Well-Being（ウェルビーイング）な状態へ

荒川将来像計画とは 荒川下流部をより魅力的な川とするための川づくりのあるべき姿を示し、それらを実現するための取組をとりまとめたものです。

地区別計画の位置づけ

地区別計画は、「推進計画」の改定を受け、荒川下流部の沿川自治体が主体となって、それぞれの地区における今後概ね20～30年間の川づくりの取組と今後の維持・管理の方針をとりまとめたものです。

荒川将来像計画の構成

長期計画

① 全体構想書

- “荒川の望ましい姿”の実現に向けた理念や川づくりの考え方等を記載

中期計画 (20～30年)

② 推進計画

- 具体的な取組の方針等を記載

③ 地区別計画

- 沿川自治体別に具体的な取組等を記載

戸田市編 川口市編 板橋区編
北区編 足立区編 葛飾区編
墨田区編 江東区編 江戸川区編

全体構想書・推進計画は以下のHPからご確認いただけます。

全体構想書：
https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000876513.pdf

推進計画：
https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000876514.pdf

荒川の川づくりの考え方



まちづくりの中での荒川の役割

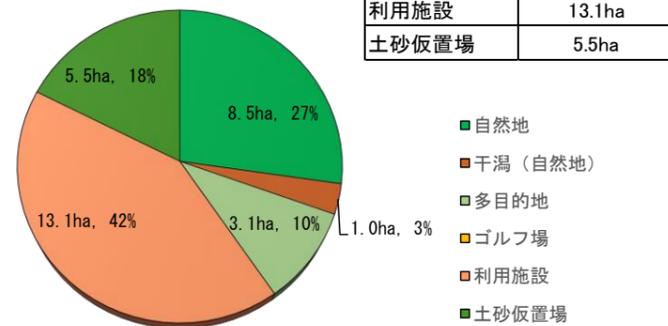
戸田市第5次総合振興計画の基本構想（目標年次令和12年度）では、自然災害などに強い都市環境を目指し、市が持つ都市の利便性と豊かな自然を活かしながら快適な生活環境を創出することで、調和のとれた持続可能なまちを目指しています。

また、第2次戸田市都市マスタープラン（改定版）では、荒川の豊かな自然資源をはじめとする自然環境が調和した、誰もが愛着と誇りを持てる公園都市づくりを進めるとともに、荒川一帯を含めた水と緑による自然環境の保全・回復・活用の取り組みを推進し、自然環境と都市環境が調和した都市づくりにつなげることを目指すこととしています。

土地利用計画

現況土地利用

戸田市の荒川河川敷は、河口から24.0km～28.7kmに位置しており、その低水路幅は約150mです。河川敷の面積は、約31haであり、その内訳は自然地が約10ha、グラウンドや公園・緑地等の利用地が約16ha、土砂仮置き場が約5haとなっています。



現況土地利用（令和4年度時点）



川づくりの基本方針

荒川を緑の軸とする水と緑のネットワークの形成

身近な自然に対する関心が高まっている中、市内の荒川を水と緑のネットワークの緑の軸のひとつと定めて、自然と歴史を感じる緑豊かな空間として創造・保全していきます。



戸田ボートコース付近の広大な水辺空間
(26.2km～28.4km)

地区別計画における土地利用区分の考え方

荒川将来像計画では、概ね20～30年後の荒川下流部全体の望ましい姿を想定し、主に自然地の適切な維持管理を前提として保全を図っていく「自然系ゾーン」と主にスポーツグラウンドや公園・緑地等の適切な利用を図っていく「利用系ゾーン」の2つに大別して、緩やかな土地利用誘導を図っていくこととされています。

地区別計画では、このゾーニングに基づき、以下の表に示す区分に従って水際を含むゾーニング内部の詳細な土地利用区分を設定します。

推進計画ゾーニング	地区別計画で設定する土地利用区分	新しい区分	
		目的	利用例
自然系ゾーン	自然保全地	現存する自然環境を保全する（荒川の川らしい姿を形成するための整備・維持管理を実施）	モニタリング調査
	自然利用地	市民が自然環境に親しむ（誰もが身近に触れ合える自然地として整備・維持管理を実施）	自然体験活動、自然観察、釣り、散策、サイクリング、草摘み、虫取り
	多目的地	多目的に利用（誰もが多目的に利用できる場として、自然度を向上させるような整備・維持管理を実施）	散策、サイクリング、ピクニック、球技以外のスポーツなどを営む誰もが自由に入出りできる緑地・公園・休憩施設等
	ゴルフ場	ゴルフに利用（市民への敷地開放に向けた自然度の向上を検討）	ゴルフ
利用系ゾーン	土砂仮置き場	治水整備に伴う土砂の仮置き場として利用する（仮置き場として利用しない場合は、自然度の高い場所として維持管理を実施）	河川工事の旅行用地
	グラウンド（各種競技場）	ゴルフ以外の特定のスポーツを行う（定住化など、自然度向上に向けた検討を実施）	野球、サッカー、テニス、ゲートボール、陸上競技等
	その他	スポーツ以外の特定の目的で使用	利便施設（休憩施設、ベンチ・四阿、トイレ、駐車場）、船着場、緊急用河川敷道路等

維持管理

行政と沿川住民の役割と協働

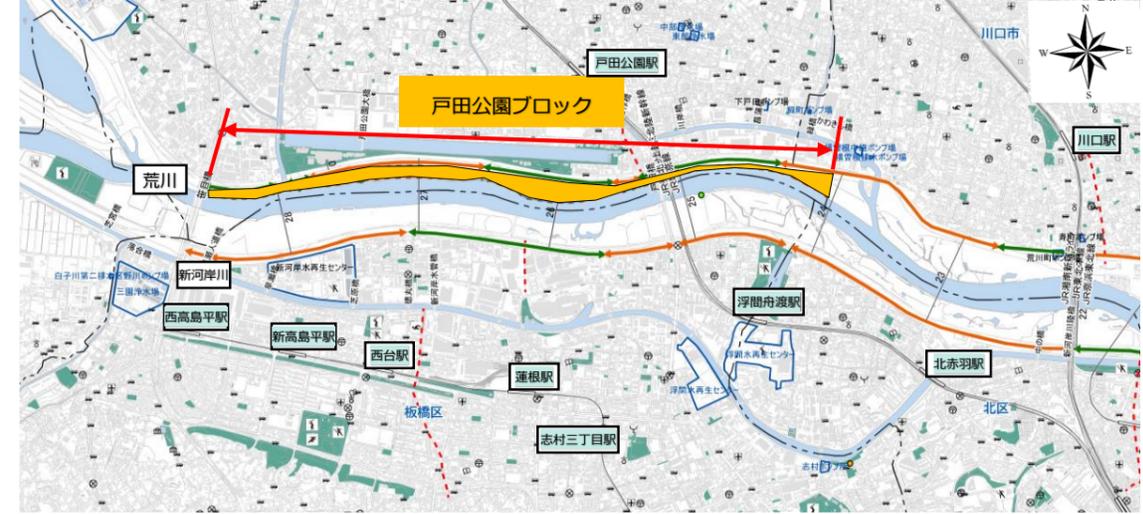
- 荒川の良好な河川空間を維持管理するため、荒川下流河川事務所、沿川自治体、沿川住民それぞれがそれぞれの役割を果たすとともに、連携し協働した維持管理をしていくことが必要となります。
- 荒川下流河川事務所は、河川管理者として河川の現状把握のための対策や、堤防の草刈りなど維持管理水準の確保のための対策、施設の安全確保点検など快適な利用の提供を図ります。また、防災、自然体験等の教育の場としての河川の活用を進めます。
- 沿川自治体は、河川敷の占有区域の維持管理を担当し、公園等における清掃・除草、ベンチなどの施設の修繕を行うほか、樹木の剪定や健全度調査、グラウンドにおける芝刈りや清掃を行います。
- 沿川住民は、節度のある利用による適切な管理が期待されます。また、ボランティアや団体活動の取組としては、動植物の調査や外来種の駆除、クリーン活動、ワンド・生物の生息空間等の管理や自然観察会等の実施などが期待されます。

自らできる川づくり支援の仕組み

- 荒川では様々な沿川住民による河川敷の管理への参加が拡大しており、今後はボランティアをはじめ荒川を利用する沿川住民の方々との協働により、荒川を守り育てることが重要となっています。
- このため行政と沿川住民の連携のもと、将来に渡り継続的・発展的に荒川の維持管理を進められる住民活動への支援を推進する必要があります。
- 戸田市では自らできる川づくり支援のメニューを設定し、荒川下流河川事務所と共に取り組んでいきます。

ブロック区分

- 推進計画の基本方針や地先の立地特性を踏まえ、本地区の整備にあたってのブロック区分を行うと右図のとおりとなります。



ブロック別計画

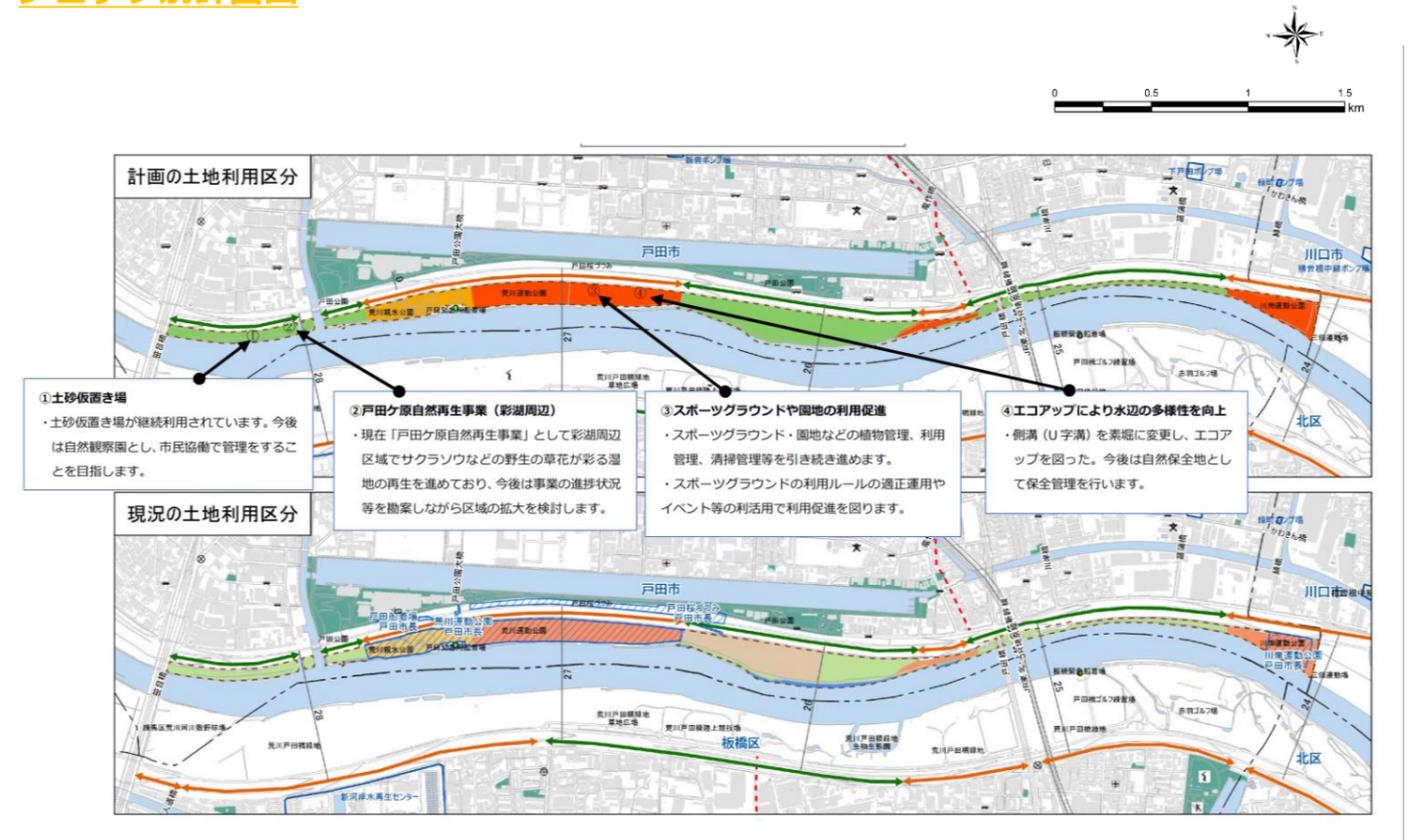
- ブロック別に、以下のような計画を策定しています。

戸田公園ブロック

ブロックの目標・整備方針

- グラウンドの維持や自然度向上により、河川敷利用者数の増加を図ります。特に市民に広く親しまれている荒川運動公園のエコアップされた場所や親水公園などについて、適正な維持管理により自然度向上を図っていきます。
- 自然地の保全を図り、ブロック全体と埼京線の環境空間が一体なって緑のネットワークを形成し、人の利用の場と生物生息空間が共存する空間となるよう配慮していきます。

ブロック別計画図



目次 (参考)

- 共通
- 個別
- 共通
- 個別
- 共通
- 個別
- 共通

1. 地区別計画とは.....	1-1
1.1. 計画の位置づけ.....	1-1
1.2. 荒川将来像計画における川づくりの理念.....	1-2
1.2.1. “健康・Well-Being な川づくり”を目指して.....	1-2
1.2.2. 流域治水(River Basin Disaster Resilience and Sustainability by All!).....	1-4
1.3. 検討体制.....	1-5
2. 荒川の川づくりの考え方.....	2-1
2.1. まちづくりの中での荒川の役割.....	2-1
2.2. 川づくりの基本方針.....	2-2
2.3. 土地利用計画.....	2-4
2.4. ブロック別計画.....	2-5
2.4.1. 現況土地利用.....	2-5
2.4.2. ブロック区分.....	2-6
2.4.3. ブロック別計画.....	2-6
3. 荒川の維持・管理の考え方.....	3-1
3.1. 基本的な考え方.....	3-1
3.1.1. 維持・管理の検討背景.....	3-1
3.1.2. 維持・管理上の課題.....	3-2
3.1.3. 維持・管理の手法.....	3-2
3.2. 行政と沿川住民の役割.....	3-3
3.2.1. 河川管理者(荒川下流河川事務所)が行う維持管理.....	3-3
3.2.2. 沿川自治体が行う維持管理.....	3-4
3.2.3. 沿川住民が行う維持管理.....	3-4
3.2.4. 協働で行う維持管理.....	3-5
3.3. 河川敷の占用状況.....	3-6
3.4. 自らできる川づくり支援の仕組み.....	3-7
4. 計画の実施に向けて.....	4-1
4.1. 推進の仕組み.....	4-1
4.2. 計画書の周知.....	4-1
4.3. 計画のフォローアップ.....	4-1
4.4. 計画の変更プロセス.....	4-2

土地利用区分(R04現況) 自然 干潟(自然地) 多目的 ゴルフ場 土砂仮置き場 利用施設 緊急用船着場(リバーステーション) 駐車場等	土地利用区分(計画) 自然保全地 自然利用地 多目的 ゴルフ場 土砂仮置き場 利用施設(各種競技場) 利用施設(その他)	ゾーニング区分(計画) 自然系ゾーン 利用系ゾーン 交通 アクセスポイント 水上バス発着場 公共船着場 駅 バス停	施設 主要公園・緑地(堤内地) 行政界 集客施設 学校 小・中学校 高等学校	その他施設 公共施設 国の機関 警察機関 消防署 病院 郵便局 区役所・市役所 支所・出張所・連絡所 上記以外の行政サービス施設	文化施設 美術館、資料館、記念館、博物館、科学館 図書館 陸上競技場 野球場・ソフトボール場 多目的運動場 プール 庭球場
---	--	--	---	--	---

荒川の将来を考える協議会

(戸田市 川口市 板橋区 北区 足立区 葛飾区 墨田区 江東区 江戸川区 荒川下流河川事務所)

お問い合わせ先
 戸田市役所 水安全部 河川課
 国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水課

TEL : 048-229-4801
TEL : 03-3902-2311